

静岡県

令和6年2月29日

読書活動だより.74

編集・発行 静岡県読書推進運動協議会

静岡県立中央図書館内
TEL 054-262-1246



「子どもと本とをつなぐ」

第30回記念大会静岡県図書館大会
第3分科会（子どもの読書活動）を終えて

静岡県読書推進運動協議会理事
本田 彰

初孫が2歳の誕生日を迎えます。息子の時から30年がたち、新しい赤ちゃん絵本もたくさん出版されている中、初孫にどんな本をどんなふうに手渡すか、祖父初心者は今、赤ちゃんと絵本について学び直しています。

さて、第30回静岡県図書館大会第3分科会は、「松岡享子さんが教えてくださったこと」と題して、松岡さんの傍らで薫陶を受けられた、安田女子大学非常勤講師で東京子ども図書館評議員の小林いづみ氏にご講演いただきました。児童文学や子どもの読書活動、図書館活動に多大な功績を残し、子どもと本とをつなぐ活動をする人々を導いてくださった松岡享子さんは、令和4年1月に86年の生涯を閉じられました。功績を振り返り、お考えや思いに心を馳せ、これからの子どもと本とをつなぐ活動をより確かなものにしていきたいと計画した講演です。

小林氏は、松岡さんが教えてくださったと感じている三つのこと、児童図書館員の基本姿勢である子どもから学ぶということ、本への信頼、広い視野を持つことを、松岡さんの著作を示しながら丁寧に話されました。

「わたしたちは、本はよいものであると信じる人々の集団に属しています。わたしたちの任務は、できるだけ多くの人をこの集団に招き入れることです。」松岡さんがアメリカで児童図書館員としての一歩を踏み出したときかけられ、生涯心に留められた言葉です。本はよいものであると信じるひとりとして、子どもから学び、本の力を信じ、多様性を認め合う広い視野を持つよう努めながら、子どもと本とをつないでいきたいと思います。

静岡県読み聞かせネットワーク全体研修会報告

演題：「戦後日本の絵本出版の到達点
～稀代の出版人松居直の仕事に則して～」

講師：古川 信夫氏
会場：静岡県立中央図書館会議室

去る令和5年11月28日(土)に、元福音館書店編集者の古川信夫氏をお招きして標記研修会を行いました。この研修会は例年、「文化の丘フェスタ」の一環として静岡県立中央図書館との主催、静岡県読書推進運動協議会との共催で行っております。講師の古川氏は、昭和50年に福音館書店に入社、松居直のもと「こどものとも」「母の友」の編集を経て、「おおきなポケット」編集長をはじめ要職を歴任された方です。

福音館書店は昭和28年に金沢から東京に進出し「母の友」を創刊したのちに、昭和31年から「こどものとも」を発行。その多くはハードカバーとなって今も子どもたちに読み継がれています。また、昭和61年7月号に掲載された『とらっく とらっく とらっく』（渡辺茂男作/山本忠敬絵）は横版の絵本として出版されました。これは



海外の翻訳出版のなかで横版の面白さ・可能性を見出した松居直の発案によるもので、当時では画期的なことでした。世界絵本傑作シリーズでは、海外の絵本を原本のまま翻訳出版することにしました。これらは幼少のころから恵まれた環境に育まれた松居直の本物を子どもに届けたいという思いから生まれたものです。ご講演では松居直の子どもの本に対する真摯な姿勢と、妥協のない美しさへの情熱などを、多くの作品を例に挙げて具体的にお話いただきました。

松居直とともに編集者として多くの児童書に携わってきたお話は、参加者に多くの示唆をいただいた一日だったと思います。

優良読書グループ表彰

（公社）読書推進運動協議会長表彰（全国表彰）

【すまいるハート（静岡市）】

絵本の読み聞かせや手あそびなどを通して絵本の楽しさを伝えること、親子等の温かく豊かな関わり合いの一助となることを目的として、平成17年10月に発足しました。「静岡県子ども読書アドバイザー」認定者、静岡市立図書館主催の「読み聞かせボランティア養成講座」修了生で構成されており、現在は年齢層豊かな8名が在籍しています。

主な活動は、静岡市立南部図書館「すまいるベビー」、「ハローベビー赤ちゃんのための読み聞かせ講座」のわらべ唄講師、図書館主催または地域活性化の各種イベント、静岡県立静岡視覚特別支援学校でのおはなし会です。また、静岡市立子ども園の保育教諭や小学校の図書ボランティアを対象に、選本・手法・プログラム作成の講義や実演も行っています。その他、静岡市のブックスタート、ブックステップ事業にも携わっています。その活動が評価され、2020年に「静岡県読書推進運動協議会長賞（県表彰）」を受賞しました。

プログラムはメンバーの得意分野を活かし、絵本・紙芝居・手あそび・わらべ唄・ペープサート・パネルシアター・工作ワークショップなど多岐に渡ります。各種おはなし会に向けては念入りに打合せをし、新たな一面を発見すべく多彩な内容に挑戦しています。さらに、全員が講座、講演会、勉強会に積極的に参加し、常に新しい情報を得る努力をしています。

今後もメンバー一丸となり、子どもの読書推進活動に努めてまいります。



静岡県読書推進運動協議会長表彰（県表彰）

【ハピママ☆キッズ（静岡市）】

『ハピママ☆キッズ』は、絵本の読み聞かせを通して、親子の絆を深め、子育て中のママ、パパや赤ちゃんが安心して過ごせる場を作り、ママも子どももハッピーになってもらえる場をつくれるようにと2008年に設立しました。赤ちゃんにとっても、ママ・パパにとっても、普段とはちょっと違う出会いの場・ふれあいの場にしたいと考え活動し、今年で15年目となります。

活動は地域密着型で、静岡市内の図書館や子育て支援センター、書店等での毎月のお話し会を中心に、各種イベントに参加させて頂いています。

参加する子どもの年齢、季節、会場の様子に合わせてテーマを決め、絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサート、わらべうた、手遊び等、なるべく参加型で一緒に楽しめるものを用意して行っています。子どもたちとママ・パパが笑顔になってくれることが、私たちの喜びです。

これからも、お話し会に来て下さる皆さんが、笑顔で過ごせる場に、ハッピーな気持ちで家庭に帰って下さるようにと、スタッフ一丸で活動していきたく思います。



静岡県読書推進運動協議会推薦図書

シニア世代へおすすめする本

『102歳、一人暮らし。』

哲代おばあちゃんの心も体もさびない生き方』

石井 哲代 / 著（文藝春秋 2023.1）

『老いてはネコに従え』

養老 孟司 / 著（宝島社 2023.5）

『85歳のひとり暮らし』

ありあわせがたのしい工夫生活』

田村 セツコ / 著（興陽館 2023.2）

若い人へおすすめする本

『ネット情報におぼれない学び方』

岩波ジュニア新書 964』

梅澤 貴典 / 著（岩波書店 2023.2）

『歲月』

鈴木 敏夫 / 著（岩波書店 2023.7）

『モノクロの街の夜明けに』

ルータ・セペティス / 作 野沢 佳織 / 訳
（岩波書店 2023.9）